



2016年9月1日 第2249回例会
9月第1例会

RIテーマ Rotary serving humanity
「人類に奉仕するロータリー」

本年度会長テーマ
「ロータリー活動 奉仕の覚醒」

「基本的教育と識字率向上月間」「ロータリーの友月間」

◆会長時間◆

香川会長



先月の24日未明に起きたイタリア中部地震では、M6.2で290人以上の人々が亡くなり、当日の夜にはミャンマー中部で、M6.8の地震が発生し、多くの仏教遺跡が被害にありました。北海道では三つの台風が飛来し、先日には、迷走した大型台風が日本列島を襲いました。何か自然の驚異が年々増しているような気がいたします。

今月は、「基本的教育と識字率向上月間」と「ロータリーの友月間」です。日本の識字率はほぼ100%ですが、低いところでは南スーダンの27%という統計があります。読み書きができないということは、必然的に教育水準が下がり、労働においても単純作業しかできなくなります。したがって年収も低くなり、暮らしていくことが最重要課題となり、家族全員が労働に携わるため、子供に対して十分な教育を受けさせることができなくなります。その結果、子供も多様な職業にはつづく、負の連鎖が起こり、貧困から逃れることができなくなってしまいます。そのような負の連鎖を断ち切るためにもロータリアンとして、識字率の向上に努める責任があるのでないでしょうか。

基礎教育というのは物事の価値判断を行う基本的尺度となるものです。多くの人々が同じように教育の機会を得られますよう祈念いたします。

新会員に会員証、ロータリーバッヂ、四つのテスト及びロータリアンの行動規範を贈呈



部 谷 俊 雄 君

●会務報告

新原幹事

※他のクラブ例会臨時変更

9月12日(月) 広島廿日市RC 職場訪問例会に変更

9月16日(金) 広島南RC 夜間例会に変更

9月23日(金) 広島城南RC 休会

9月28日(水) 広島陵北RC 職場訪問例会に変更

9月30日(金) 広島城南RC 夜間例会に変更

※例会終了後、4階「アマリリス」において9月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

※福屋の香川さんより「第14回 平和のパッチワークキルト展」のご招待券をいただいております。興味のある方は、お持ち帰り下さい。

※ロータリー財団地区補助金奨学生 三澤志織さんから近況報告が届きました。

広島西ロータリークラブ 御中

大変お世話になっております。

8月分のご報告の送付が遅くなってしまい申し訳ありません。以下に近況をご報告いたします。

◆学校について

8月5日にEnglish Preparation for Graduate Studies (EPGS) programが終了いたしました。プログラムの締めくくりとしては、Academic Writingのクラスで取り組んでいた2000～3000ワードの論文の提出と、Presentationのクラスのまとめとして論文に基づいたプレゼンテーションの発表会がありました。他の英語プログラムと合同の大きな発表会で、クラスメイトだけでなくその他大勢の方が見に来られており非常に緊張いたしましたが、無事発表を終えることができました。決して満足のいく出来ではありませんでしたが、やり切ったことで自信になりました。クラスメイトからは今まで一番良かったといった感想もいただき、少し成長できたのかなと思います。このプログラムが終了後感じるのは、本当に受講して良かったということです。睡眠時間がほとんど取れないほど課題に追われる日々も多々ありましたが、クラスメイトと励まし合いながらやり切ったことで、英語力強化はもちろんのこと、大学院生活への心構えが十分にできたこと、学校や周りの環境に十分に馴染むことができたこと、仲間ができたこと、など得るもののがたくさんありました。

約2週間の休みの後、8月23日から約1週間、大学院のオリエンテーションを受けました。そして今週29日からついに授業が始まりました。私が在籍するのはTranslation, Interpretation and Localization Management (TILM) program の日本語科なのです。その他に中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語、ロシア語、スペイン語科があります。言語により人数は大きく異なりますが、日本語科は少数で、私を含め7人です。純日本人は私ともう一人の二人のみで、その他はハーフのバイリンガルの方やアメリカ人です。今週は授業の概要説明が主ですが、来週から本格的に授業が始まります。レベルの高いクラスですが、しっかりとついていけるように頑張りたいと思います。

◆受け入れクラブとの関わりについて

前回のご報告後、EPGSプログラムの課題がますます増加したことや、上記の発表会、その他引っ越し関係の用事と重なるなど、なかなかミーティングへの参加がかないませんでしたが、カウンセラーのLisaさんがEPGSプログラム完了後、お祝いのランチに連れて行ってくださいました。プログラムを受講中にはライティングやプレゼンテーションについてLisaさんにもアドバイスやこつを伝授していただくなど、助けてくださいありがとうございました。

その他では、現在MIISでRotaractを設立したいという話が持ち上がっており、それに参加させていただけることになりそうです。まだ詳しい話は始まっていませんが、とても楽しみです。

◆その他生活について

EPGSプログラム終了後の休暇中に引っ越しをいたしました。ホームステイを続けることも考えていましたが、在学生のアドバイスもあり、通学の利便性を優先して学校近くのアパートに引っ越しすることに決めました。休暇中に引っ越しが完了したため、学校が始まるまでに生活環境も整えることができたのは良かったです。学校が始まってみて、時間を節約出来ることを考えると改めて引っ越しして正解だったと思っています。

引っ越し作業の他、休暇中はEPGSプログラムでできた友人たちとモントレー水族館を訪れたり、サンノゼ（モントレーから車で約1時間半のシリコンバレーにある町）に観光に行くなど、リラックスした時間を楽しみました。大学院が始まる前のよいリフレッシュ休暇となりました。

● 委員会報告

*** プログラム・出席委員会**

出席報告 松岡(幹)君

本日 (9月1日・木曜日)

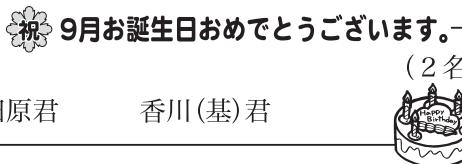
会員数	85名	出席者	72名
欠席者	13名	ご来客	3名
ご来賓	1名	ゲスト	0名
		計	76名

前々回 (8月18日・木曜日)

出席率 100%



●会員記念日



■新会員紹介

○部谷 俊雄 会員

へ や と し お
推 薦 者 川西 祐二 君

推 薦 同 意 者 中村 哲朗 君

生年月日 昭和35年5月1日

勤 務 先 株式会社 広島銀行

役 職 名 取締役常務執行役員

学 歴 慶應義塾大学 商学部

この度、歴史と伝統のある広島西ロータリークラブに入会させていただくこととなりました広島銀行の部谷俊雄と申します。入会に際しましては、推薦者の川西祐二様、推薦同意者の中村哲朗様をはじめ、会員の皆様からご承認をいただきましたこと、心から厚く御礼申し上げます。

私は昭和35年に広島市中区舟入で生まれ、現在も舟入に住居を構えています。部谷という姓ですが、これは現在の江田島市の能美島出身者が多く、私の父親も能見町高田の出身です。大学卒業後の昭和58年に株広島銀行に入社し、己斐支店を振出に、東京支店、本店営業部、研修所、大手町支店、吉島支店、営業統括部、広島東支店、総合企画部、本店営業部を経て、現在は、人事総務部、コンプライアンス統括部、リスク統括部を担当しております。大学と東京支店勤務の8年6ヶ月を除き、広島市に居を構え、根っからの広島人であると自負しております。また、銀行の中においては、単身赴任経験の無い数少ない人間です。(このことは銀行の中ではあまり大きな声ではいえませんが)

申し上げるまでもなく、世界経済の先行き不安、日本銀行によるマイナス金利政策等により、銀行経営も未曾有の厳しい状況となっておりますが、地方銀行として地域の発展を第一義とし、全力で地域創生に取り組んで参る所存ですので、今後とも宜しくお願いいたします。

また、家族については、妻と二人の恩恵があります。長男は独立し現在は茅ヶ崎に在住しており、来年の6月に結婚予定です。次男は大学3年で、世の中の風潮と一緒にで広島に帰るつもりはないよ

うです。今更ながら、「妻と仲良くしなければ」と焦っている次第です。

ロータリークラブに入会させていただいた以上、積極的に例会、奉仕、委員会等に出席し、皆様方と交流を深めて参りたいと考えておりますので、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。



●スマイルボックス SAA 柴田君

●瀬崎さん

7月21日の赤い「経済レポート」によると、広島電鉄は山崎製パンと共同で「広島電鉄 味めぐりランチパック」というパンを2種類販売されました。コンセプトは、路面電車に乗って街を巡り、電停周辺の「広島の美味しい」を探す。広島電鉄株と瀬崎さんの益々のご活躍を祈念いたします。

■卓 話



男子厨房に入るべし

ステュディオ グリオット

山本 恭瑚 氏

プロフィール

- ・1987年：フランス菓子教室「グリオット」設立
- ・2000年：フランスへ渡り、ル・ノートル・リツツ、ル・コルドンブルーにて研修。
以降、毎年受講

- ・2001年：鈴峯女子短期大学 オープンカレッジ
講師
- ・2002年9月：生活に密着した多目的な教室
「Studio Griotte」設立
- ・2010年4月：広島文化学園短期大学 フランス
菓子講師
- ・2013年：公益社団法人広島県学校給食会 食育
調理講習講師
- ・2013年：広島市選定ひろしまグッドデザイン賞
グランプリ(ドレッシング部門)受賞
- ・2014年2月：広島市食農コーディネーター認定
「ひろしまそだち」野菜アドバイ
ザー認定

2014年10月：本を出版しました

J'aime Ça (ジェムサ) は、フランス語で「こ
れ好き！」の意味。

直感人間の山本恭瑚がフランスや地元で出会った人、見つけたモノや街の情景などを紹介します。

一瞬にして何かのトリコになるって素敵。あなたの日々にもたくさんのがJ'aime Çaがありますよ
うに。

フードコーディネーター・山本恭瑚先生のエッセイ&レシピ集。

Amazonベストセラーフランス料理部門 第1位

デザート・スウィーツ部門 第3位

かつての「男子厨房に入るべからず」とは…

- ・男子たる者は台所に入り込んで、料理・家事の
ような女子のする仕事に口を出すべきではない、
という意味で使われることが多いです。
- ・語源は、中国の「孟子(もうし)」にある、「君
子は庖厨(ほうちゅう)を遠ざく」と言わされてい
ます。その意味は、「君子は生あるものを哀れ
む気持ちが強いから、生き物を殺す料理場に近
づくことは、とうてい忍び得ないと」とあります。
それが日本に伝來した際、本来の意味から
変化したと言われています。

男性が料理教室へ参加する動機

- ・60代～70代

配偶者に先立たれた場合、後に1人残される不

安から

- ・50代

趣味の裾野を広げたいという気持ち

- ・30代～40代

結婚を意識した、調理能力の向上。健康面の不安
料理教室参加後の男性動向

- ・60代～70代

調理よりも、調理の行程を見るのが楽しい。
食を通じてのコミュニケーションに関心。

- ・50代

調理に関心があり、調理したいレシピに提案を
してくる。

- ・30代～40代

調理に対する知識はないが、言われたことは頑
張ってこなす。

パートナーの女性がやるべきこと

調理を任せても台所を片付けない、買い物を任
せても高い物ばかり買ってくる…など不満は沢山
あると思います。

しかし、男性に対して寛容になってこそ、男性
の能力向上が図れるのです。

実例：私の父は60歳を過ぎてから、母に言われて、
毎日の昼食担当になりました。いまや料理歴23年
です。

グリオットの「男の料理教室」では、意欲あ
る男性をお待ちしています。

男の料理コース

内 容 「男子厨房に入らズ」は今や昔。男性
同士で和気藹々と腕を振るってみませ
んか。

料 金 1レッスン 5,000円(税別)

開講日 第1金曜(18:30～)、第4木曜(18:
30～)、第4日曜(18:30～)

● 卓話予告

日 時	テ ー マ
9/15(木)	「会社の考え方 従業員の思い ～そのギャップを知るには～」 職業能力開発協会 専務 熊野 良樹 氏

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 香川 基吉
幹事 新原 靖

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC 検索 